

新型コロナウイルス感染症対策関連事業 評価シート

1. 事業名	農業経営支援事業				
2. 担当部署	産業経済部	担当課等	農政課		
3. 事業の概要	<p>新型コロナウイルスの影響等により収入の減少が見込まれる市内水稻農家に対し、10a当たり2千円を交付する。</p> <p>対象：市内稲作農家 6,800件 対象面積：11,400ha 上限金額：500千円</p>				
4. 事業の目的	<p>新型コロナウイルスの影響が長期にわたり続いており、飲食店等の経営に大きな影響を与えている。このため農産物の需要が減退し、米価にも影響が出ていることから、経営面積に応じた補助金を交付し、水稻農家の次期作に向けた経営継続を支援することを目的とする。</p>				
5. 事業対象	市内のコロナウイルス感染症の影響を受けた水稻農家				
6. 年度末状態	年度内完了				
7. 事業費	194,713千円	執行額	194,665千円	執行率	99.98%
8. 事業評価	非常に効果的であった				
9. 事業評価理由	<p>登米市の耕作面積は約15,000haであり、そのうち令和2年度の水稲作付面積（米形態転作含む）は約11,000haに作付けが行われ、支援金は約6200件の農家に対して交付した。現在は令和3年度の作付け計画を取りまとめを実施しているなかで、3月末時点では昨年度同様の農家戸数及び作付け面積で計画がされている状況である。</p> <p>このことから、昨年度並みの作付け状況等により、次期作に向けた経営支援が図られたことで、事業の目的は達成できたものと思われる。</p>				
10. 事業課題	—				
11. 課題の要因	—				
12. 令和3年度の方角	事業終了				